

令和元年6月13日現在

機関番号：21401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K03607

研究課題名(和文) 組織構造に基づく戦略的整合(SSAM)モデルについての実証研究

研究課題名(英文) Empirical Studies on Structured based Strategic Alignment Model (SSAM)

研究代表者

宮本 道子 (Miyamoto, Michiko)

秋田県立大学・システム科学技術学部・教授

研究者番号：30469598

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：研究代表者が提案したHenderson and Venkatramanの戦略的整合モデル(SAM)に人事部など社内の各部署の役割や影響を考慮した「組織構造に基づく戦略的整合モデル(SSAM)」について、日本全国からランダムに抽出した101社、韓国中小企業482社、超高齢化が進んだ秋田県の介護施設71施設、954人から収集したデータを用いて、事業、IT、企業の組織の整合性について実証研究を行った。前回、2011年に行った秋田県の中小企業の調査結果と比べて、今回はIT担当管理者/役員がいる企業が増え、IT戦略が人事部からIT専任ポストに移行した企業が増えたことが示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

事業とITの統合が実現された企業は競争優位性を得ると言われており、事業とITの整合性に係わる研究は急務の課題である。本研究は企業構造とインフラに着目した事業とITの整合性モデルを初めて提案したSSAMモデルを日本全体の企業において調査研究することで、事業とITの統合の実現と企業業績向上に対して、企業内の各部署がどのような関連性を持つか、よりミクロな視点で分析することが出来た。企業構造に着目することで、わが国と韓国との比較が行えた。また、介護施設におけるIT活用についても調査分析し、管理業務がITと深く関連していることがわかったが、それ以外では、まだITが充分活用されていないことがわかった。

研究成果の概要(英文)：Relationships between different departments of companies (HR department in particular) and business strategy, IT strategy are measured based on survey data of (1) 101 companies randomly extracted across Japan, (2) 482 SMEs from South Korea, and (3) nursing homes throughout Akita Prefecture, were analyzed in the framework of "Structured based Strategic Alignment Model (SSAM)." It suggests that the number of companies with a dedicated IT manager increased from the previous survey, and that decision making on IT strategy has shifted from the HR department to a dedicated post.

As for Korea SMEs, HR department also has a great influence on the IT strategy in Korean SMEs. IT influences HR management and supports personnel activities in Korea. As for nursing homes, management work is deeply related to IT, however, IT is not yet fully utilized, particularly, regarding communication and support systems.

研究分野：経営学

キーワード：戦略的整合性モデル 事業戦略 事業とITの整合 IT戦略 ITCプロジェクトマネジメント CIO

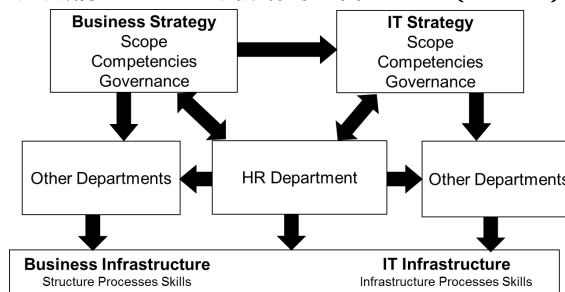
1. 研究開始当初の背景

組織構造に基づく戦略的整合モデル (Structured based Strategic Alignment Model (SSAM))

研究代表者は既に戦略的整合モデルに関する研究を行い、Henderson and Venkatraman の戦略的整合モデル (SAM) に人事部など社内の各部署の役割や影響を考慮した「組織構造に基づく戦略的整合モデル(SSAM)」を提案した。SSAM モデルは日本独自の企業構造の特徴が事業戦略、IT 戦略に与える影響を考慮し、事業と IT の整合を組織面から捉えようとしている。また SSAM モデルを使うことで欧米や諸外国の企業の組織構造を踏まえた事業と IT の整合性を分析し、国際的な比較が可能となる。予備調査分析として SSAM モデルに基づいて日本特有の企業構造が事業戦略と IT 戦略の整合性にどのように影響を与えているのか、2011 年に行った秋田在住の中小企業 345 社に対する調査データを用いて実証研究した。その結果、人事部が他のラインに大きな力を持っているのみならず、事業戦略や IT 戦略に対しても大きな影響力を与えていることが明らかになった。

そこで SSAM モデルの調査対象を日本全体に広げ、秋田県内の中小企業で検証された事業戦略や IT 戦略に対する社内の各部署の役割や影響を調査し、日本企業特有の事業と IT の整合性に関して注視すべきことを企業規模、地域性など鑑み、より深く検証することとした。

組織構造に基づく戦略的整合モデル (SSAM)



また、日本とアメリカでは組織構造内の各部署の位置づけが異なることがすでに知られているが、他の国の企業組織についてはあまり知られていない。そこで海外の組織構造を調査し、海外研究協力者との国際比較分析も視野に含めた SSAM モデルを提案したいと考えた。

2. 研究の目的

事業 (business) と情報技術 (IT: Information Technology) の整合 (alignment) の重要性はますます高まっており、欧米では事業と IT の整合に関する研究が活発に行われ、さまざまな実証研究も行われている。事業と IT の整合を実現することは日本の企業にとっても最重要課題であるが研究の拡充が十分行われているとは言い難い。一方、日本企業は欧米とは異なる組織モードを持っていることが知られており、事業と IT の整合性を考えるときに、日本特有の組織体系は無視できない。そこで本研究は事業戦略と IT 戦略という戦略面に企業内の各部署がどのような影響を持つのか、予備調査分析から見てきた内容をもとに、組織構造に基づく戦略的整合モデル (SSAM) を完成させることによって、従来の事業と IT の整合性だけでは解決できなかった組織面からのアプローチで寄与することを目的とする。

3. 研究の方法

(1) 平成 23 年度に秋田県内で行った調査を元に仮説を再構築して、日本全体でランダムに抽出した企業を対象にアンケート調査を行った。(2) 平成 28 年度に介護施設における IT 活用の実態調査について秋田県全域で調査を行った。(3) 本研究のテーマの一部である国際比較研究の一環として韓国の中企業を対象とした人的資本企業パネルデータを取得した。(4) ITC プロジェクトにおけるプロジェクト・マネジャーとプロフェッショナルの意識調査のデータを取得した。

4. 研究成果

(1) 「構造に基づく戦略的整合モデル(SSAM)」について、全国都道府県の企業に対してITと企業戦略の整合性について調査を行った。101社から有効回答を得た。2014年に秋田県内企業に対して行った調査結果が中小企業中心だったことと比べ、今回は中小企業だけではなく、社員数1000人以上、年商500億円以上の大企業が回答数全体の4分の1を占めた。

前回の調査では正で強い関連性が見られた、人事部とビジネス戦略、IT戦略との関連性は、今回の調査結果では、ともに正の関係を見せたが、強い関係性は見られなかった。また人事部とロジスティック部門、技術・製造部門の間では、正で有意な関係性が見られたが、人事部とマーケティング・営業部門の間では有意な関連性は見られなかった。一方、マーケティング・営業部門とビジネス戦略の間は正で有意な関連性が見られた。

この結果、人事部は依然、ロジスティック、技術、製造部門に強い影響力を持っているが、マーケティング・営業部門にはそのような関連性は見られず、またマーケティング・営業部門とビジネス戦略間で強い関連性が見られたことから、企業におけるマーケティング・営業部門の役割が前回の調査とは大きく変わったことを示唆している。

また、人事部とIT戦略との関係の変化について、前回の調査では、「IT担当役員のポストの有無」についての質問項目で1. ITに詳しい一般従業員が他の業務と兼任でITを担当と答えた企業が半数以上(51.2%)を占めたが、今回は2. 他と兼任でITを担当する役員・管理者がいるが45.5%となり、前回少なかった3. 専任のIT担当管理者がいる(役員のポストはない)、4. 専任のIT担当役員のポストがある、が、それぞれ1.3%から5.9%、11.4%から25.7%と伸び、IT戦略は専任ポストへ移行されていることが示唆された。

(2) 介護施設におけるIT活用については、平成28年度に秋田県全域で行った調査に基づいて分析を行った。回答した71施設、954人の介護職員による、IT利用、コミュニケーション、管理業務、サポートシステム、ITの使いやすさ、満足度について分析したところ、管理業務がITと深く関連していることがわかったが、それ以外、特にコミュニケーションとサポートシステムに関しては、まだITが十分活用されていないことがわかった。またIT利用とITの使いやすさの関係も薄かった。さらにIT利用が介護職員の満足度と関連していないこともわかった。

(3) 本研究のテーマの一部である国際比較研究の一環として韓国の中小企業482社の調査データを対象とした人的資本企業パネルデータによる研究を行った。まず、異なる事業部門における事業とITの整合性についてSSAMの枠組みを使った日韓企業の比較を行った。韓国と日本では経営スタイルが異なるが、どちらも人事部門がIT戦略に大きな影響を与えるという結果を得たが、IT戦略については韓国企業の場合は他の部門に関連していないという結果になった。また韓国企業では経営陣が営業・サービス、研究開発、技術、人事、生産部門に対し大きな力を持っていることが示唆された。次に、韓国企業において、企業の内部経営資源が競争優位を生み出すと考えるリソース・ベスト・ビューの理論的枠組みを用いて、それぞれの中小企業が持つ無形資産が競争優位の点からIT事業価値にどのような影響を与えるか分析した。さらに、人事と情報技術(IT)が交差する分野である人事管理システム、人事管理、人事部門の活動(採用、人事配置、プロモーション、評価等)との関連について分析を行った。その結果、人事管理システムと人事活動には強い関連性があることが判った。またITは人事管理に影響を与え、人事活動を支えていることが判った。

(4) 以前行った日本の中小企業354社のデータを用いて、戦略アライメント成熟度、短期リンクエッジ、企業パフォーマンスの関連についてSledgianowski and Luftman(2001)による概念フレームワークを検証した。その結果、IT-ビジネス整合性の成熟度は企業パフォーマンスに非常に深く関連していたが、短期リンクエッジとはマイナスの関係となった。企業目標(ビジネスプラン)とインフォメーション・システム計画のリンクエッジは正の関係だったが、インフォメーション・システムとIT-ビジネス整合性の成熟度のそれぞれの要因とのリンクエッジは、先行研究同様、弱いという結果となった。

(5) 日本のITCプロジェクトに対するプロジェクト・マネジャーとプロフェッショナルの知覚と態度、特にコミュニケーション、仕事に対するモチベーション、仕事への関与と満足度について、それらの指標を使って2つのグループ(マネジャー、プロフェッショナル)の違いを分析した。その結果、マネジャーはコミュニケーションが仕事に対するモチベーションに深く関係しているとしたが、プロフェッショナルのグループはそういう結果を示さなかった。

5 . 主な発表論文等

[雑誌論文] (計 6 件)

- Miyamoto, M. (2018). Strategic Alignment Maturity and Its Effect on Organizational Performance of Japanese Small and Medium Enterprises, *International Journal of Management, Innovation & Entrepreneurial Research*, 4 (1), pp. 42-50. 査読有
- Miyamoto, M. (2018). Human Resource Information Systems in Korean Small-Medium Companies, *Asia Pacific Journal of Advanced Business and Social Studies*, 4(1), pp. 21-32. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Information Technology and Business Alignments among Different Divisions: A Comparative Analysis of Japan and Korea, *International Journal of Computer and Information Engineering*, 10(19), pp.1779-1784. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Intangible Assets for Competitive Advantage and IT-Business Alignment of Korean SMEs, *International Journal of Business Management & Research*, 6(5), pp. 15-24. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Perception of the Role and Responsibilities of Chief Information Officers in Japan, *AIMS International Journal of Management*, 10(3), pp. 143-153. 査読有
- Miyamoto, M. (2015). Leadership in ITC Project Management in Japan, *Procedia Computer Science*, 64, pp. 32-39. 査読有

[学会発表] (計 12 件)

- Miyamoto, M. (2019). IT-Business Alignments among Different Divisions of Japanese Corporations, *The First International Conference on Artificial Intelligence in Information and Communication, Proceedings*, pp.311 - 315. 査読有
- Miyamoto, M. (2018). Competitive Force, IT Strategy and Business Strategy: A Case of Large Corporations and Small and Medium Enterprises in Japan, *14th International Conference on Business, Education, Social Science, Management, Proceedings*, pp.118 - 137. 査読有
- Miyamoto, M. (2018). Information Communication Technology Adoption and Acceptance in Long-Term Care Facilities in Japan, *2018 International Conference on Business and Information (BAI2018), Proceedings .* pp.87-95. 査読有
- Miyamoto, M. (2017). Strategic Alignment Maturity and Its Effect on Organizational Performance of Japanese Small and Medium Enterprises, *2017 (TISS) The International Symposium on Business and Social Sciences, Proceedings*, pp. 139-151 . 査読有
- Miyamoto, M. (2017). Measuring Managers' and Professionals' Perceptions and Attitudes towards Information and Communication Technology Projects in Japan, *The 3rd Seoul International Conference on Social Sciences and Management, Proceedings*, pp.172-183. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Information Technology and Business Alignments among Different Divisions: A Comparative Analysis of Japan and South Korea, *18th International Conference on Conceptual Modeling and Information Technologies, Proceedings*, pp. 224-229. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Intangible Assets for Competitive Advantage and IT-Business Alignment of Korean SMEs, *Annual Symposium on Management and Social Sciences, Proceedings*, pp.214-225. 査読有
- Miyamoto, M. (2016). Empirical Study of Strategic Alliance Decisions of Korean Small-and-Medium- Sized Enterprises, *Academic World International Conference, Proceedings*, pp.8-13. 査読有
- Miyamoto, M. (2015). Relationships of Factors for Successful ICT Projects Management, *International Conference on Information and Communication Technology and Digital Convergence Business, Proceedings* pp.163 171. 査読有
- Miyamoto, M. (2015). Critical Factors in IT Project Teams, *International Conference on ICT Convergence 2015, Proceedings*, pp.949-952. 査読有
- Miyamoto, M. (2015). Perception of the Role and Responsibilities of CIOs in Japan, *International Conference on Management and Information Systems, Proceedings*, pp.63-67 . 査読有
- Miyamoto, M. (2015). Consideration of IT-Business Alignment based on Organizational Structure, *The 4th International Symposium on Business and Social Sciences, Proceedings*, pp.275-284. 査読有

[図書] (計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

宮本 道子 (MIYAMOTO MICHIKO)

秋田県立大学・システム科学技術学部・経営システム工学科・教授

研究者番号： 30469598

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。